



PATHO News

自治医科大学 病理診断部

<http://www.iichi.ac.jp/pathology/>

No.45
2020. 3. 6

病理診断部 業務実績報告 (2019年 1月~12月)

◎組織診

受付件数	15,552件
作製ブロック数	65,337個
HE染色枚数	84,666枚
特殊染色枚数	43,853枚
術中迅速診断件数	944件
術中迅速診断ブロック作製個数	1,776件
センチネルリンパ節診断件数	188件
センチネルリンパ節診断ブロック作製個数	564件
未染スライド薄切枚数 (免疫染色用・外注用など)	29,390枚

◎免疫組織化学 (IHC)

IHC件数	3,340件
IHC染色枚数	17,908枚
ER・PR*件数	491件
Her2*件数	508件
FISH*件数	104件
EBER1*件数	176件

*ER・PR、Her2：酵素抗体法
*FISH：蛍光 in situ ハイブリダイゼーション
*EBER1：EBウイルス関連リンパ腫、胃がん等の確定診断のための検査

■電子顕微鏡検査は微細形態解析技術を駆使し、ウィップル病、カルタゲナー症候群等稀少な病気の病理確定診断に寄与しています。心筋生検においては細胞内小器官の観察、蓄積物の分析、心筋細胞の変性等の観察を行います。また腎生検においては、慢性腎炎等の病理診断補助、慢性腎不全患者の増加に伴う腎移植後の拒絶反応・免疫抑制剤の影響の有無等バンフ分類に沿った観察を行い、病理確定診断に貢献をしています。

■剖検（病理解剖）は、研修施設・教育施設認定（定期的な病院CPCの開催）、学生講義、臨床実習（BSL）、医療事故調査制度（制度施行：平成27年10月1日）への協力、院外剖検の受け入れ等を行っています。

◎細胞診

受付件数	15,116件
迅速件数	293件
総染色枚数	36,512枚

◎遺伝子検索 (PCR)

件数	48件
----	-----

◎剖検（病理解剖）

件数	22件
うち院外剖検	3件

◎電子顕微鏡検査

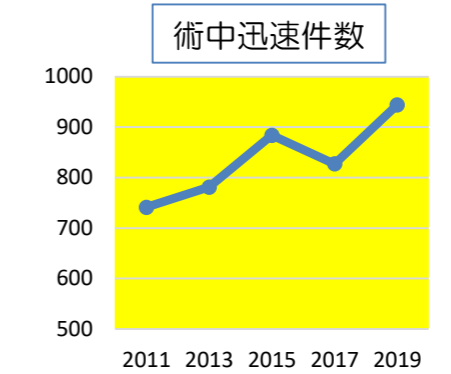
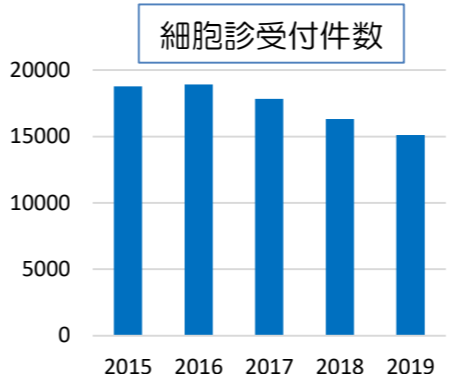
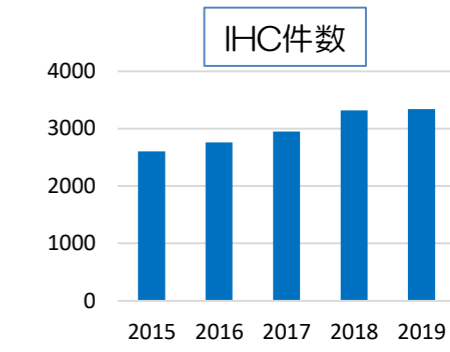
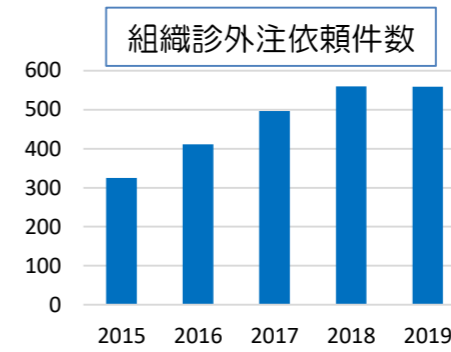
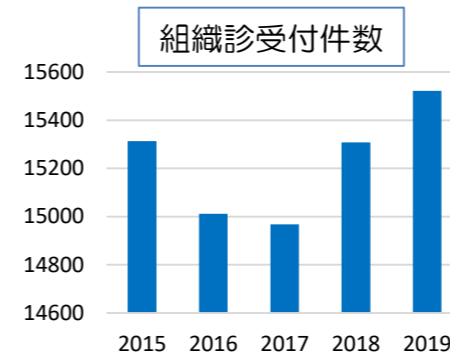
件数	309件
うち さいたま医療センター	102件

◎蛍光抗体法

件数	162件
染色枚数	1,199枚

* 前年から増加

- 2019年において、組織診受付件数（15,552件）、術中迅速診断（944件）、細胞診（16,318件）免疫組織化学（3,340件）でした。
- 組織診の受付件数は微増、術中迅速診断件数は、本年も増加しました。また、がんゲノムパネル検査及び外注検査が増加していることから、未染作製枚数は増えていくことが予想されます。
- 免疫組織化学検査において、リンパ腫系検索が増加しています。EBER1は昨年に続き増加傾向にあり、EBウイルス関連リンパ腫、胃がんなどの確定診断に重要な検査です。FISH検査は、HER2(酵素抗体法)で判定スコアが2+のものに実施します。乳癌または胃癌に対する分子標的薬剤(ハーセプチン)が患者に使えるかどうかの指標となる重要な検査です。



※PCR法検査の中止について
PCR法は、これまでパラフィンブロックからDNAを抽出し、主にリンパ腫の鑑別（B細胞系リンパ腫かT細胞系リンパ腫か）を行って参りました。しかし、病理診断としての保険加算ができない、精度管理が困難、マンパワー不足等の理由により令和2年2月13日をもって中止とさせていただきます。ご理解・ご了承のほどお願いいたします。

ダブル合格おめでとう!!

坂口（丹波）美織先生が昨年7月の日本病理学会認定病理専門医の合格に引き続き、12月には細胞診専門医にも合格しました！



病理専門医とは

日本の医師免許取得後に臨床研修を終了し、日本病理学会が認定する研修施設で3年もしくは4年以上の病理学研修を行い、所定の研修内容を終了した後、日本病理学会が実施する専門医試験（筆記試験、実技試験）に合格し、日本病理学会専門医制度運営委員会で審議、認定された医師です。

令和元年度（第37回）病理専門医試験が7月27、28日に行われ、全国で92名が合格しました（合格率80%）。

細胞診専門医とは

医師、歯科医師資格取得後5年以上の者で細胞診断学の研修を3年間以上受け、細胞診断学並びに細胞病理学に関する論文3編以上などなどの試験資格条件をクリアし、細胞診専門医試験に合格した医師です。

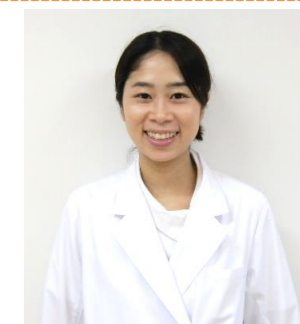
2019年度細胞診専門医認定試験が11月30日に行われ、122名（総合科合格者 118名+ 歯科口腔科合格者 4名）が合格しました。

退職のごあいさつ

病理診断部を3月いっぱいまで退職するスタッフからのご挨拶です。

増山 温子 技師

3月31日をもって、自治医大を退職することになりました。至らない私ですが、病理診断部の皆さんの優しさに支えられ、5年間業務に励むことが出来ました。恵まれた職場に巡り会えたことに感謝しています。病理診断部での経験を、今後の人生の糧にしていきたいと思っています。5年間本当にお世話になりました。



検体受付および剖検受付時間

8:30 ~ 17:15 (内線 2257)
注) 土・日・祝祭日は剖検のみ受付 (内線 2257 or PHS 18218)

ニュースレター PATHO News 病理診断部 No.45 2020. 3. 6

発行 : 福嶋敬宜(ふくしま のりよし)
編集 : 飛田野清美(ひだの きよみ) 柳田美樹(やなぎた みき) 小瀬川順幸(こせがわ じゅんこう)
杉本真(すぎもと まこと) 佐藤沙弥香(さとう さやか)